

京都府の地震活動

平成31年（2019年）4月

第 32 卷 第 4 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】南海トラフ地震に関連する情報の名称について	・・・ 5

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

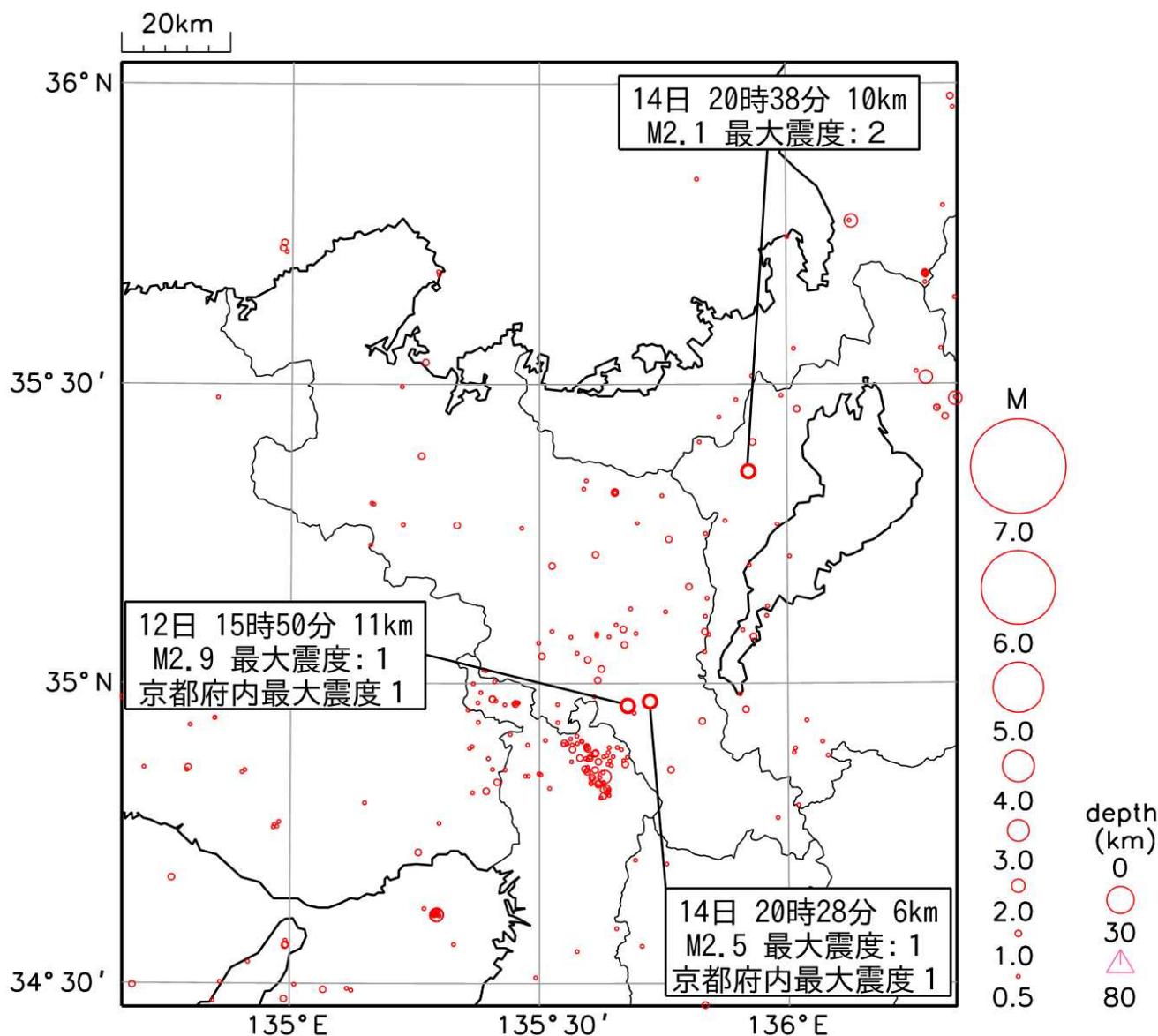
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2019 04 01 00 : 00 - 2019 04 30 24 : 00

総数 : 277



- ・震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

概況

4月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は9回、震度1以上の揺れを観測した地震は3回発生しました（3月はそれぞれ6回、1回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は2回ありました（3月は3回）。

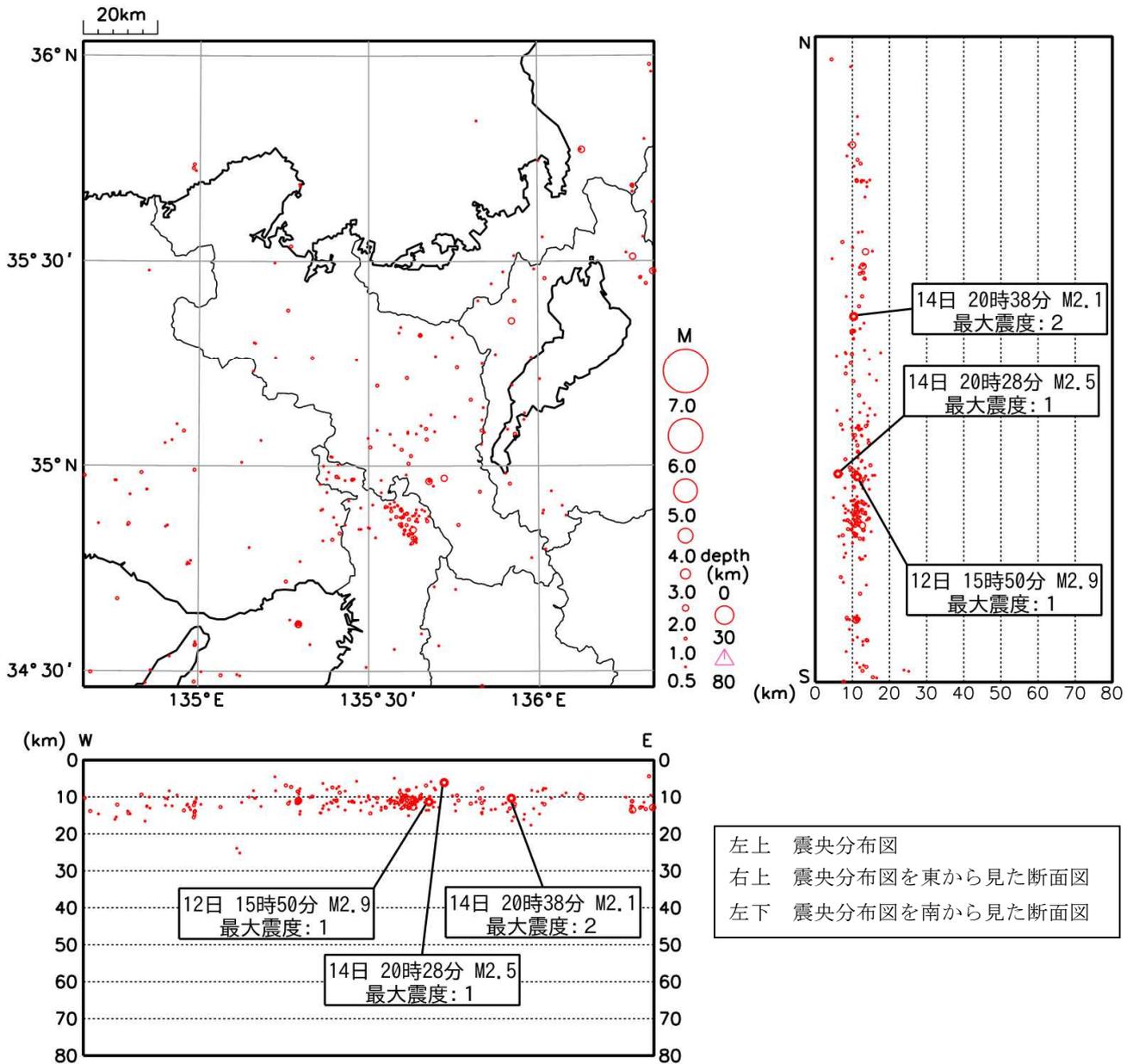
12日15時50分 京都府南部の地震（M2.9、深さ11km）により、京都府京都市中京区・京都市下京区・京都市伏見区・京都市西京区・宇治市・亀岡市・八幡市・大山崎町・久御山町・宇治田原町、大阪府島本町で震度1を観測しました。

14日20時28分 京都府南部の地震（M2.5、深さ6km）により、京都府京都市中京区・京都市下京区・京都市右京区・京都市伏見区・京都市山科区・京都市西京区・向日市・長岡京市・久御山町、大阪府島本町で震度1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2019 04 01 00:00 - 2019 04 30 24:00

総数：276



- 震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）を付記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2019年4月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	4月12日	15:50	京都府南部	34° 57.7'	135° 40.6'	11	2.9
②	4月14日	20:28	京都府南部	34° 58.2'	135° 43.3'	6	2.5

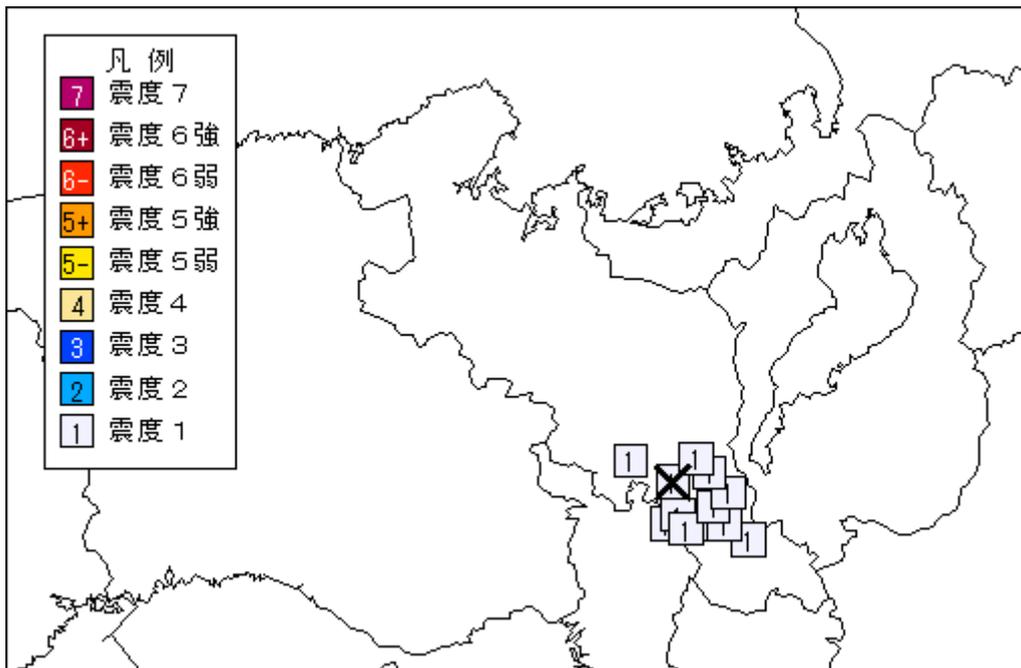
地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②
北 部	福知山市内記	気	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-
	舞鶴市下福井	気	-	-
	舞鶴市浜	防	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-
	宮津市柳縄手	自	-	-
	伊根町亀島	防	-	-
	伊根町日出	自	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	-
	京丹後市峰山町	自	-	-
	京丹後市大宮町	自	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	-
南 部	与謝野町加悦	自	-	-
	与謝野町岩滝	自	-	-
	与謝野町四辻	自	-	-
	京都北区紫竹	自	-	-
	京都北区中川	自	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-	-
	京都上京区今出川御前	自	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	-
	京都左京区田中	自	-	-
	京都左京区鞍馬	自	-	-
	京都左京区花脊	自	-	-
	京都左京区岩倉	自	-	-
	京都左京区大原	自	-	-
	京都中京区西ノ京	気	1	-
	京都中京区河原町御池	自	-	1
	京都東山区清水	自	-	-
	京都下京区河原町塩小路	自	1	1
	京都南区西九条	自	-	-
	京都右京区京北周山町	自	-	-
	京都右京区太秦	自	-	1

地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-
	京都伏見区竹田	自	-	-
	京都伏見区醍醐	自	1	1
	京都伏見区向島	自	1	-
	京都伏見区淀	自	-	-
	京都伏見区久我	自	-	-
	京都山科区安朱川向町	防	-	1
	京都山科区西野	自	-	-
	京都西京区樫原	自	-	1
	京都西京区大枝	自	1	1
	宇治市宇治琵琶	気	1	-
	宇治市折居台	防	-	-
	亀岡市安町	気	1	-
	亀岡市余部町	防	-	-
	城陽市寺田	自	-	-
	向日市寺戸町	自	-	1
	長岡京市開田	自	-	1
	八幡市八幡	自	1	-
	大山崎町円明寺	自	1	-
	久御山町田井	自	1	1
	京田辺市田辺	自	-	-
	井手町井手	自	-	-
	宇治田原町荒木	自	1	-
	笠置町笠置	自	-	-
	和束町釜塚	自	-	-
	精華町南稲八妻	自	-	-
	南山城村北大河原	自	-	-
	京丹波町坂原	気	-	-
	京丹波町蒲生	自	-	-
	京丹波町橋爪	自	-	-
	京丹波町本庄	自	-	-
	南丹市美山町島	自	-	-
	南丹市園部町小桜町	自	-	-
南丹市八木町八木	自	-	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	
木津川市山城町上狛	自	-	-	
木津川市加茂町里	自	-	-	
木津川市木津	自	-	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、4月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

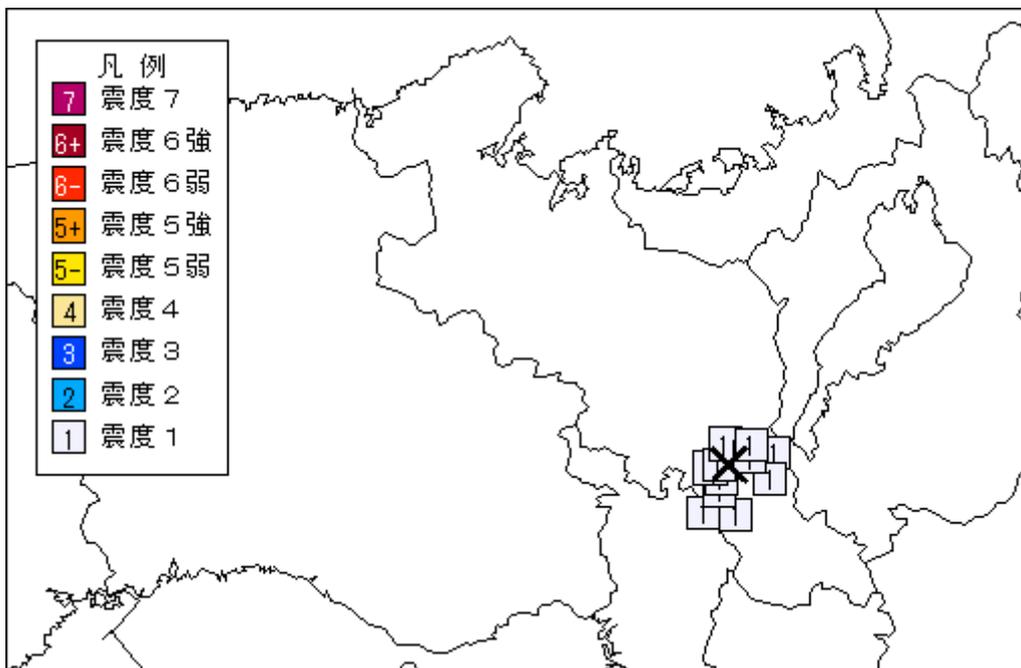
① 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



4月12日 15時50分 京都府南部の地震 (M2.9、深さ11km)

(図中の×印は震央位置)

② 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



4月14日 20時28分 京都府南部の地震 (M2.5、深さ6km)

(図中の×印は震央位置)

【地震一口メモ】

南海トラフ地震に関連する情報の名称について

2017年11月から、気象庁は「南海トラフ地震に関連する情報（定例、臨時）」の運用を始めました。この情報は、南海トラフ地震発生の可能性について、有識者による「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」が評価した結果をお知らせするものです。普段は毎月、南海トラフ周辺の観測結果を「（定例）」の情報で発表し、もし異常な現象が観測され、調査を開始した場合や、大規模地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合には「（臨時）」の情報を発表することとしていました。

内閣府から2018年12月に公表された「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の報告書では、「大規模地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合、該当するケースや、警戒のレベルに応じた防災対応が取れるよう、情報の内容等について名称や位置づけを検討することが必要」と指摘されました。これを踏まえ、気象庁は情報の名称を「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」に変更するとともに、臨時情報には（巨大地震警戒）や（巨大地震注意）などのキーワードを付記して情報を発表することとします（この変更は、2019年5月31日から開始）。

当面は、下の表のように従来の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」や「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」の本文中に、新しい名称やキーワードを含んだ形で発表します。さらに、十分な準備期間を設けた後、情報の内容に対応した新たな電文による最終的な情報発表形式に移行する計画です（最終的な形式への移行時期は未定）。

●従来の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」の電文で発表

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報 ※防災対応がとりやすいよう キーワードを付して情報発表 します	（調査中）	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	（巨大地震警戒）	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	（巨大地震注意）	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等
	（調査終了）	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報	○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合	

●従来の「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」の電文で発表

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震関連解説情報	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）